

第102期 定時株主総会

2025年6月26日



はじめに

昨年、中国連結子会社2社において会計処理が適切に行われていなかった件に関し、株主の皆さまをはじめとする関係者に、多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

経緯	判明事実	影響
<ul style="list-style-type: none">● 在庫に対し、保存期間に応じて減価処理をする社内ルールを運用● 2024年7月、社内モニタリングで、中国子会社においてルールどおりの処理されていない疑いが判明、社内調査を開始● 処理の回避が恣意的に行われている可能性があり、2024年9月、外部調査チーム立ち上げ	<ul style="list-style-type: none">● 中国連結子会社が、在庫評価損の発生を恣意的に回避し、月次損益を調整● 中国連結子会社が、仕訳操作を行い、月次損益を調整● 上記の不適切な会計処理は、中国連結子会社2社以外では確認されなかった	<ul style="list-style-type: none">● 24年3月期までの影響額 在庫に対する不適切な会計処理の訂正：320百万円 利益調整を目的とした仕訳操作の訂正：10百万円● 電子部品セグメントの売上原価として、2025年3月期第2四半期（中間期）中間連結財務諸表で処理（利益減額）● 過年度決算の訂正はなし

**ご質問等につきましては、
報告事項および
決議事項の議案の内容説明が
終わりましたから、
一括してお受けします。**

第102期 定時株主総会議事

報告事項

1. 第102期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類ならびに
会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第102期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- | | |
|-------|-------------------------|
| 第1号議案 | 定款一部変更の件 |
| 第2号議案 | 監査等委員である取締役を除く取締役3名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査等委員である取締役4名選任の件 |

■ 監査等委員会委員長 横山 雄 治

計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

報告事項

1. 第102期事業報告、連結計算書類
ならびに会計監査人および監査等委員会の
連結計算書類監査結果報告の件

エレクトロニクス市場

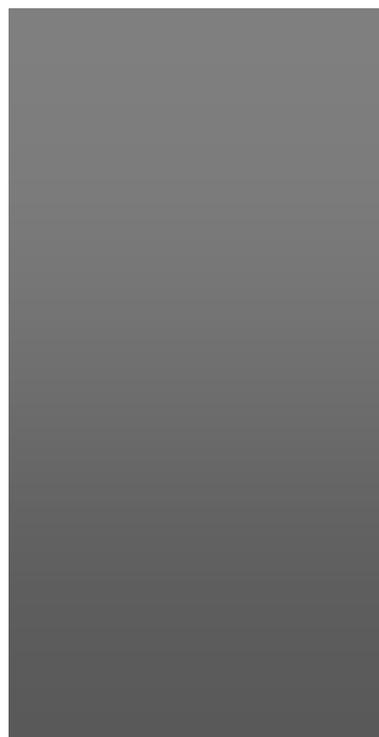
- AIの拡がりを背景に、データセンター向けの設備投資が北米を中心に世界で拡大
- スマートフォンを中心とする情報通信関連は、力強さは欠くものの回復基調で推移
- 自動車関連は、電装化進展に伴う需要拡大の基調に変わりはないものの、EV市場の成長に停滞感
- 産業機器関連の需要は低位で推移

売上高

招集ご通知 P. 14

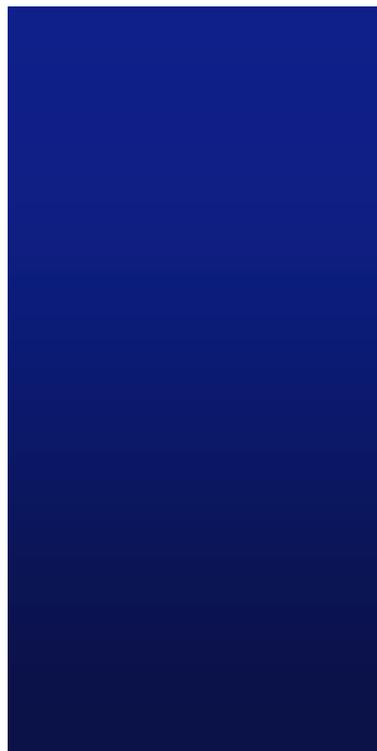
[単位:百万円]

106,622



2023年度

114,051



2024年度

前期比

7.0%



事業報告

計算書類

対処すべき課題

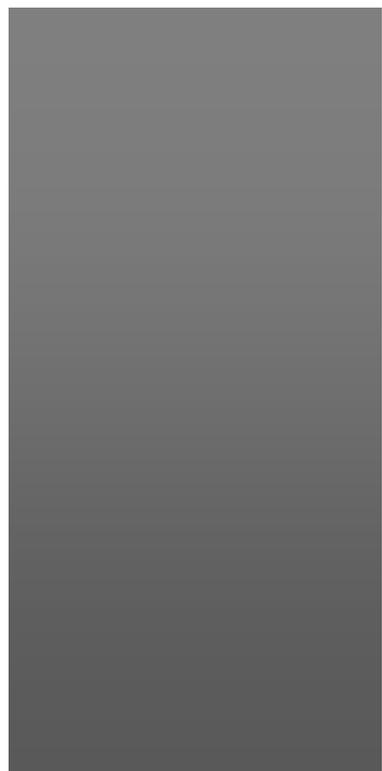
決議事項

営業利益

招集ご通知 P. 14

[単位:百万円]

4,940



2023年度

5,195



2024年度

前期比

5.2%



事業報告

計算書類

対処すべき課題

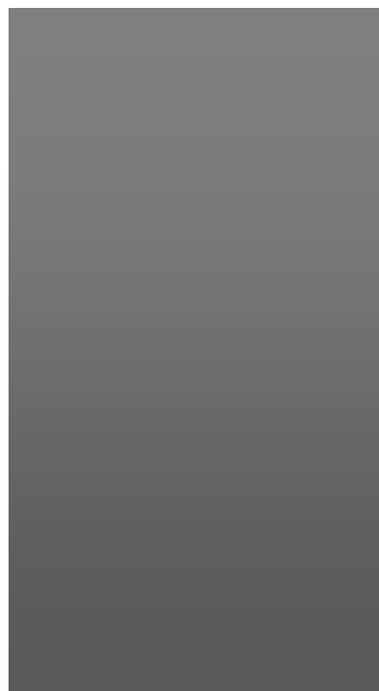
決議事項

経常利益

招集ご通知 P. 14

[単位:百万円]

4,956



2023年度

5,061



2024年度

前期比

2.1% 

事業報告

計算書類

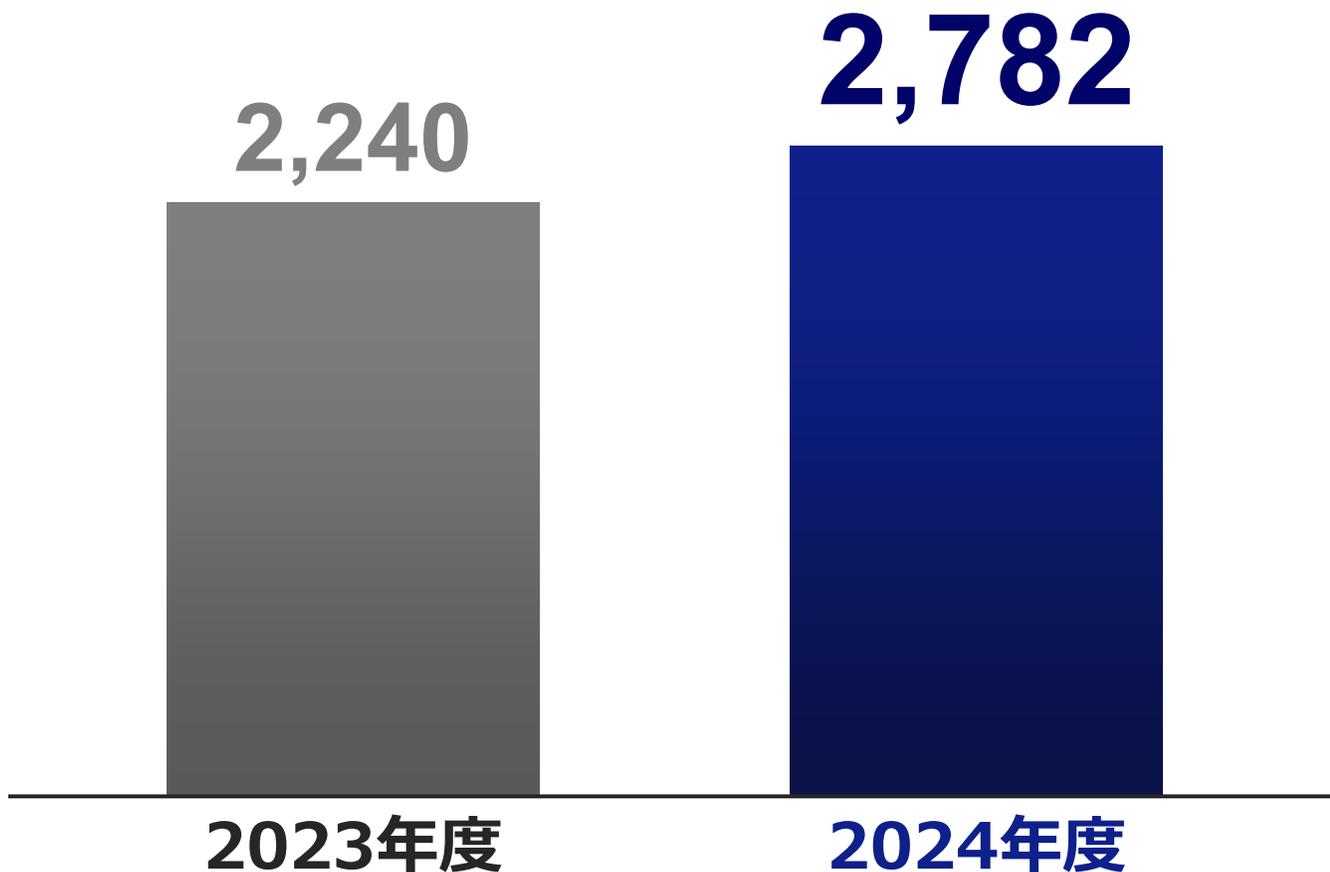
対処すべき課題

決議事項

親会社株主に帰属する当期純利益

招集ご通知 P. 14

[単位:百万円]



- 特別損失として、連結子会社の一部事業を第三者に事業承継することに伴う損失、および関係会社株式の評価損失を計上

前期比

24.2% 

事業別概況

電子部品関連事業

電子化学実装関連事業

情報機器関連事業



エアコン用リアクタ



大型トランス・リアクタ

■ 産業機械向けトランス・リアクタ

➤ 低位で推移

■ エアコン用リアクタ

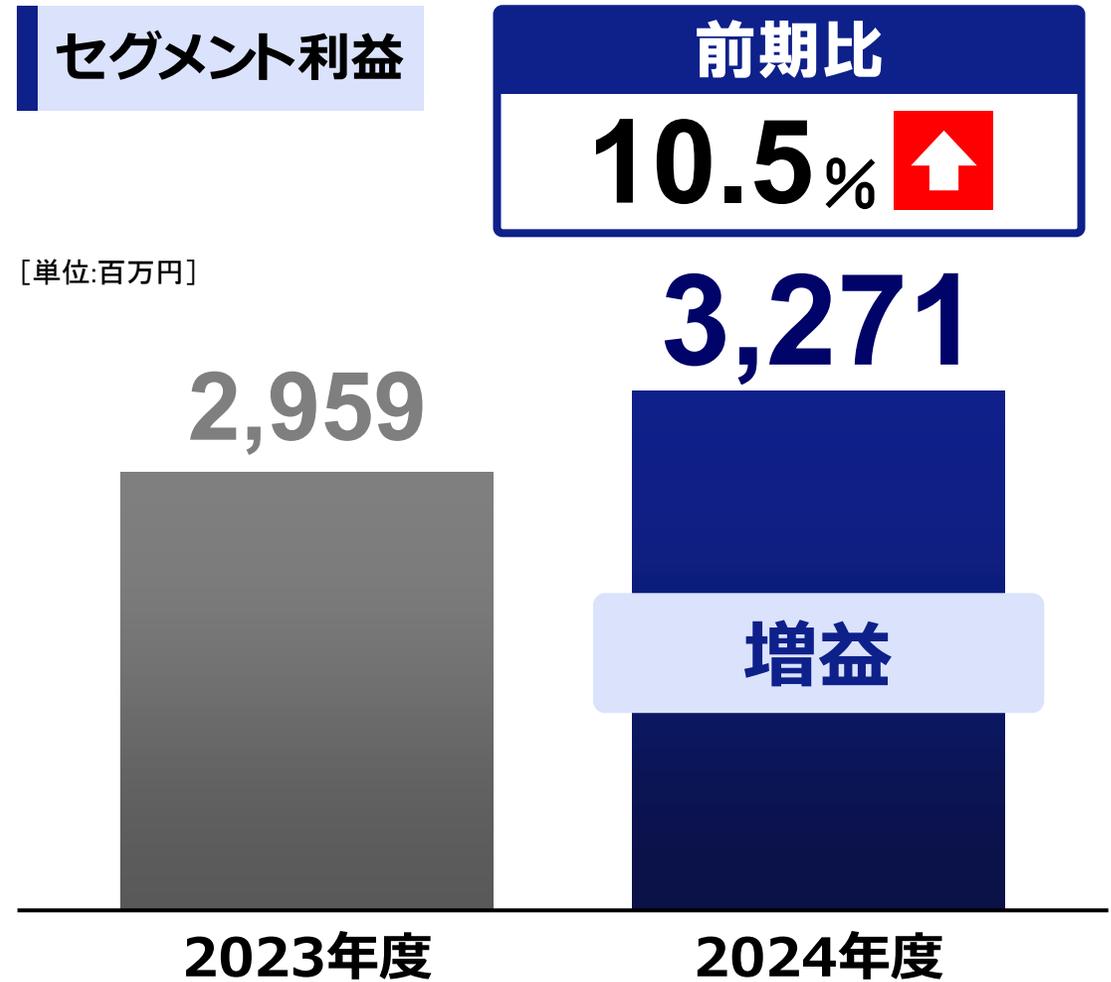
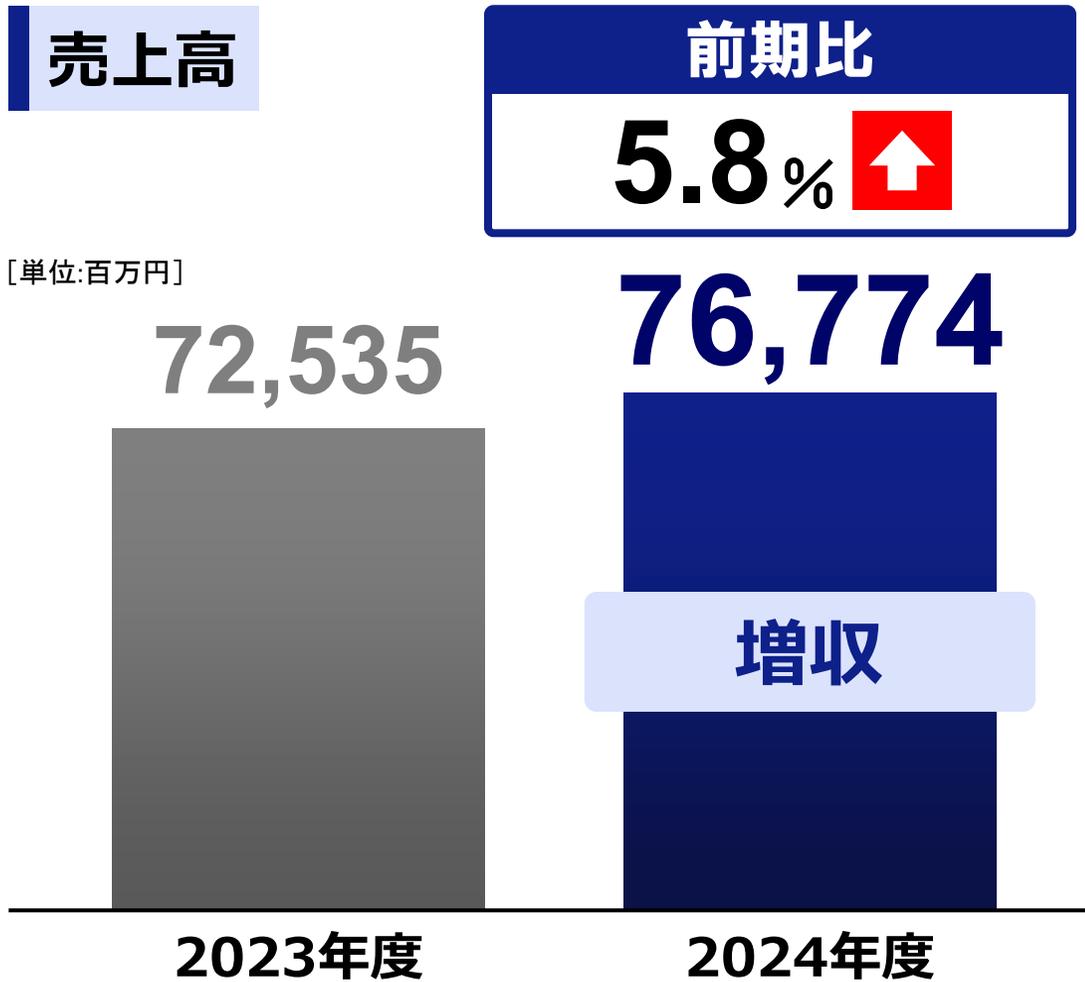
➤ 緩やかな回復

■ 電動工具向けチャージャ

➤ 売上が拡大

■ データセンター向け大型トランス・リアクタ

➤ 米国を中心に増加



事業別概況

電子部品関連事業

電子化学実装関連事業

情報機器関連事業

電子化学事業



ソルダーペースト

- ソルダーペースト
- ソルダーレジスト

堅調に推移

円安が売上・利益増に寄与

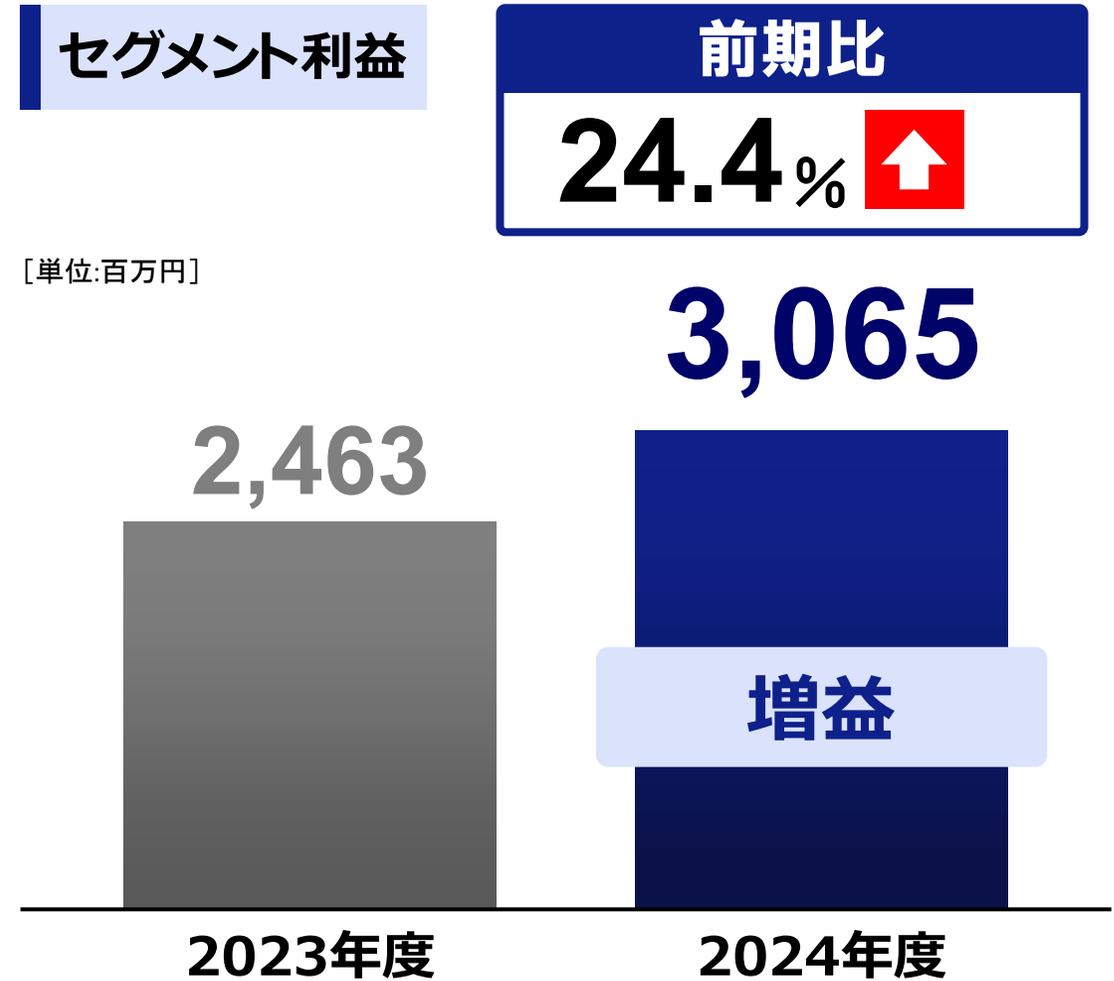
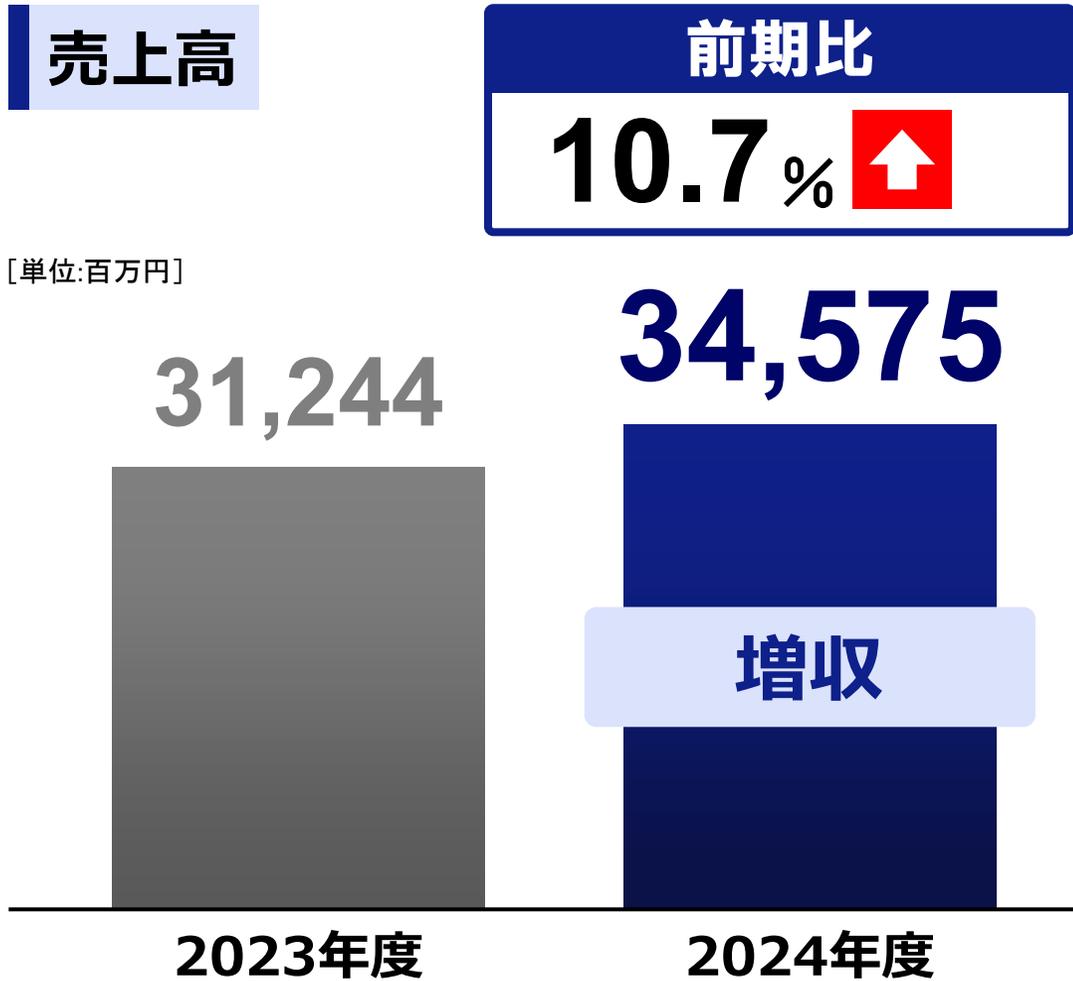
実装装置事業



リフローはんだ付装置

- 実装装置事業

低位に推移



事業別概況

電子部品関連事業

電子化学実装関連事業

情報機器関連事業



NTXシリーズ



f100

- 放送局向けの更新案件延期
- 放送業界全般における厳しい設備投資環境が継続

売上高

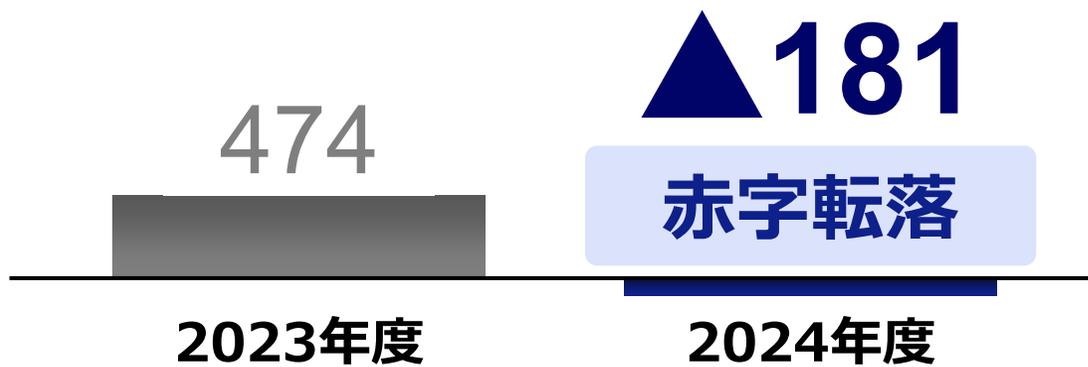
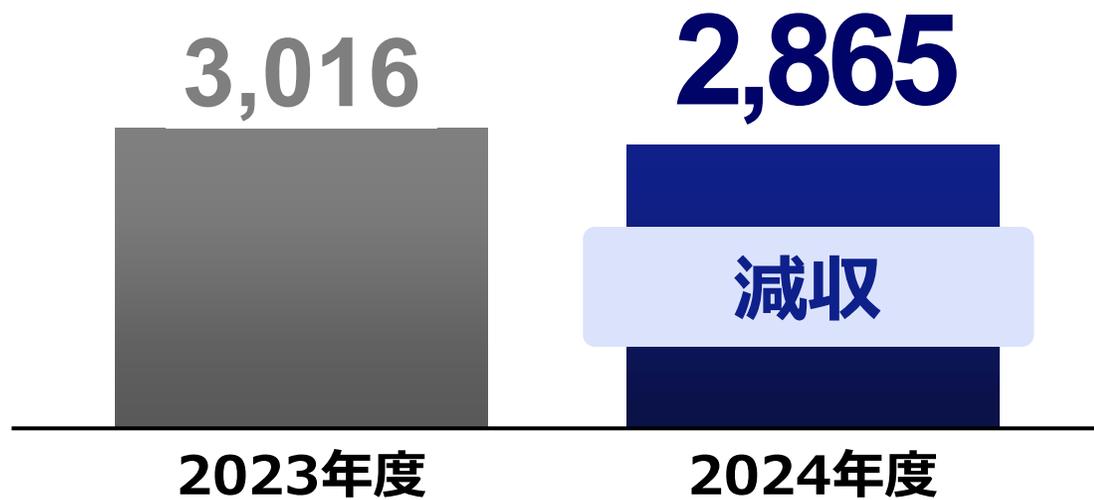
前期比

5.0% 

セグメント損益

[単位:百万円]

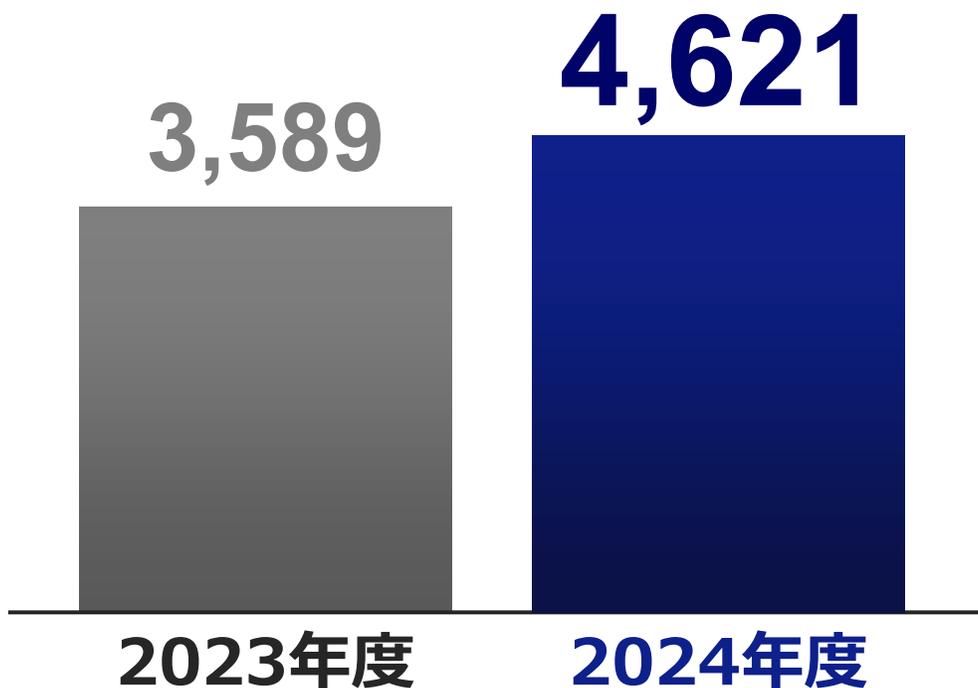
[単位:百万円]



設備投資総額

46億2千1百万円

[単位:百万円]



- 設備更新および電子化学実装事業の製造棟の新設
- 新棟完成は2025年10月を予定

のちほど会長の浅田より
ご説明いたします。

その他状況

- 1項: 「企業集団の現況に関する事項」のその他の事項
- 2項: 「会社の株式に関する事項」
- 3項: 「会社の新株予約権等に関する事項」
- 4項: 「会社役員に関する事項」
- 5項: 「会計監査人の状況」
- 6項: 「取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
その他業務の適正を確保する体制」
- 7項: 「業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要」
- 8項: 「株式会社の支配に関する基本方針」
- 9項: 「剰余金の配当等の決定に関する方針」

「招集ご通知」18頁から41頁をご覧ください。

連結貸借対照表

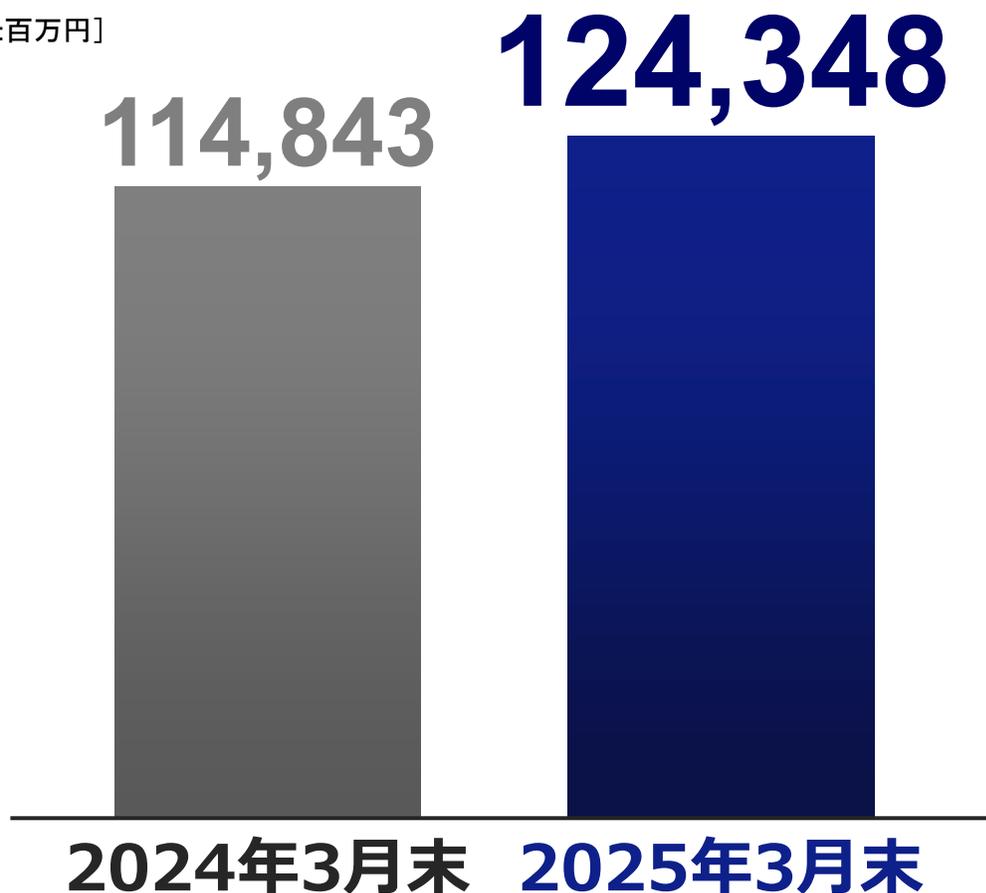
招集ご通知 P. 42

資産の部	負債の部
124,348 百万円	60,314 百万円
	純資産の部
	64,034 百万円

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

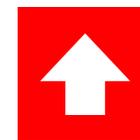
資産の部

[単位:百万円]



前期末比

95億5百万円



- 流動資産は、現金および預金、ならびに売上債権の増加により67億9千8百万円増加
- 固定資産は、製造棟の新設を中心とした有形固定資産の増加により27億7百万円増加

連結貸借対照表

招集ご通知 P. 42

負債の部

[単位:百万円]

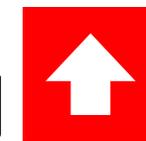
57,046

60,314

2024年3月末 2025年3月末

前期末比

32億6千7百万円



- 有利子負債合計は5千万円増加し、339億4千9百万円

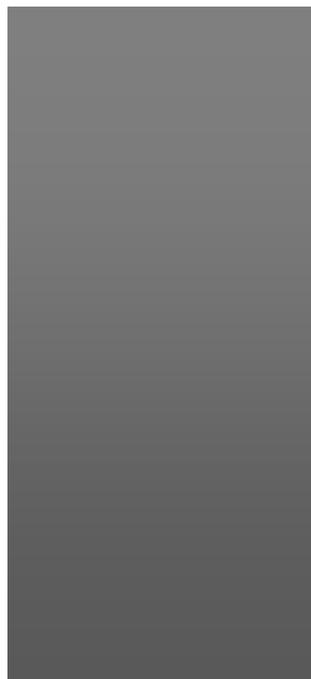
連結貸借対照表

招集ご通知 P. 42

純資産の部

[単位:百万円]

57,796

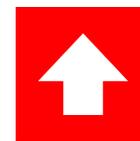


64,034

2024年3月末 2025年3月末

前期末比

62億3千7百万円



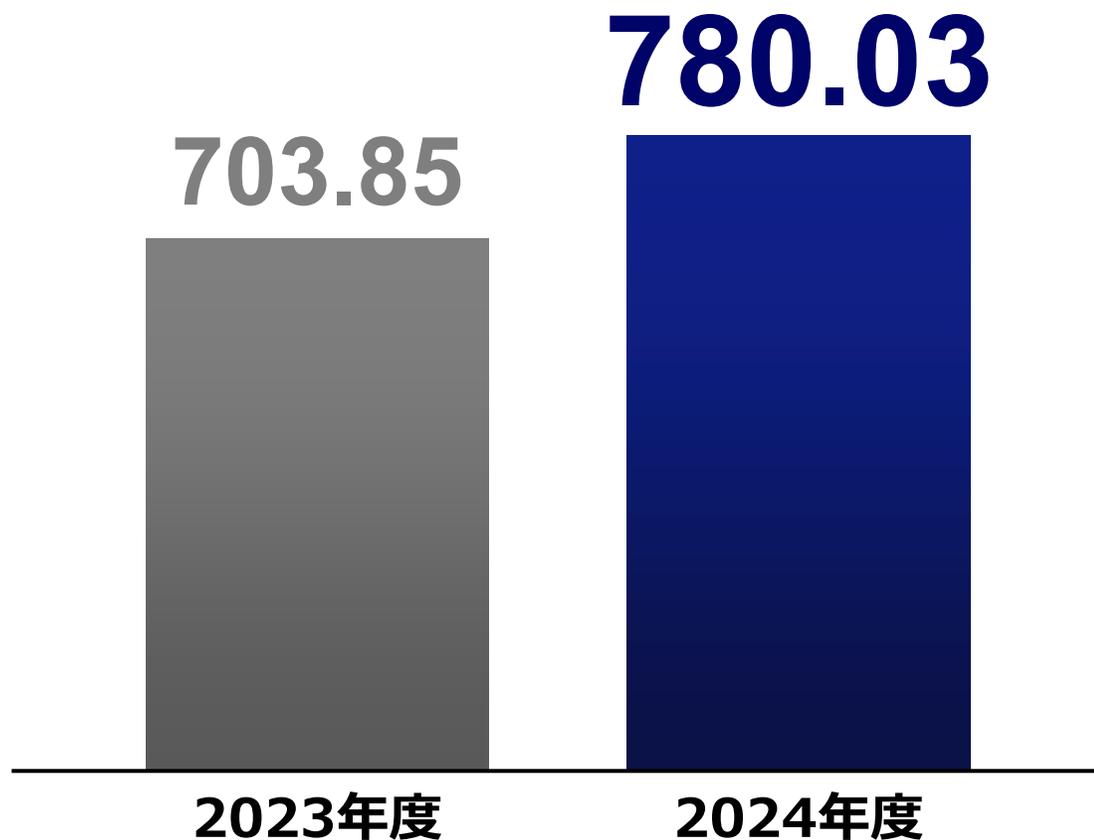
- 利益剰余金が
25億3千7百万円増加
- 円安により為替換算調整勘定が
27億6千2百万円増加

連結貸借対照表

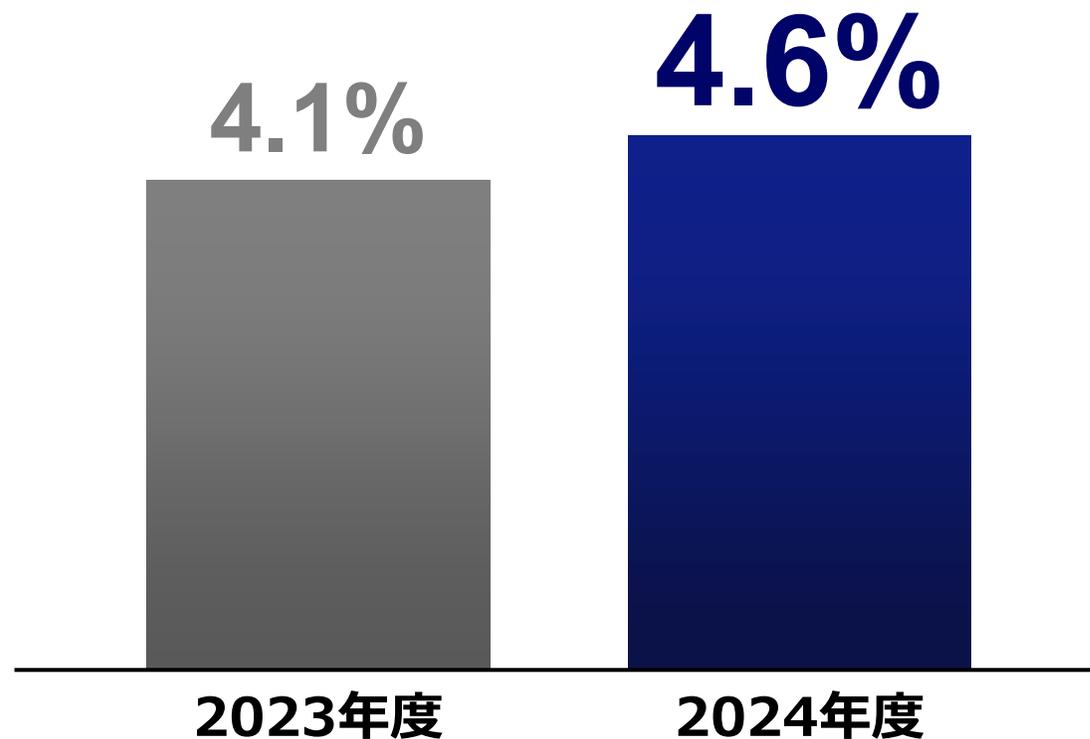
招集ご通知 P. 42

1株当たり純資産

[単位:円]



自己資本当期純利益率 (ROE)



事業報告

計算書類

対処すべき課題

決議事項

報告事項

2. 第102期 計算書類報告の件
「招集ご通知」43頁から47頁を
ご覧ください。

対処すべき課題

「招集ご通知」18頁から21頁をご覧ください。

Energize the Future 100

創業100周年とその先の力強い未来を創る変革

事業戦略:
成長と効率の二本柱



サステナビリティ
戦略

創業100周年となる2024年度と
その先の成長に向けた取り組みを推進

- コロナ禍後の日常を取り戻す期間
- 地政学リスクの高まり・素材価格高騰・急激な円安

市場ニーズを捉えた製品投入

適正価格設定の徹底



売上高1,000億円を超える過去最高を記録し、
収益性は改善方向で推移

財務目標

	基準年 22/3実績	中期計画 25/3	中期実績 25/3
営業利益	15.6億円	60億円以上	52億円
営業利益率	1.8%	6%	5.2%
ROE	▲0.2%	8%	4.6%

- 営業利益率・ROEは目標に至らず、更なる新製品・新市場の拡大、低成長・低収益領域の抜本的見直しが課題
- 材料在庫適正化できず、資産効率改善に遅れ

サステナビリティ戦略

中国子会社2社

社内ルールに反した在庫の会計処理が行われていたことが顕在化



ガバナンス強化とコンプライアンス意識向上
に向けた取り組み継続が課題

One TAMURA for Next 100

事業戦略

財務戦略

サステナビリティ
戦略



中期経営計画最終年度 (2027年度)
ROE 8%以上・PBR 1倍以上の達成を目指す

事業戦略

成長の基盤作り

体質改善

注力市場

クリーンエネルギー関連

注力製品

次世代パワーエレクトロニクス関連製品

注力地域

欧米

米国データセンター向け
大型トランス・リアクタの旺盛な需要

事業戦略

成長の基盤作り

- 在庫の早期適正化
- 生産・販売拠点の最適配置

体質改善

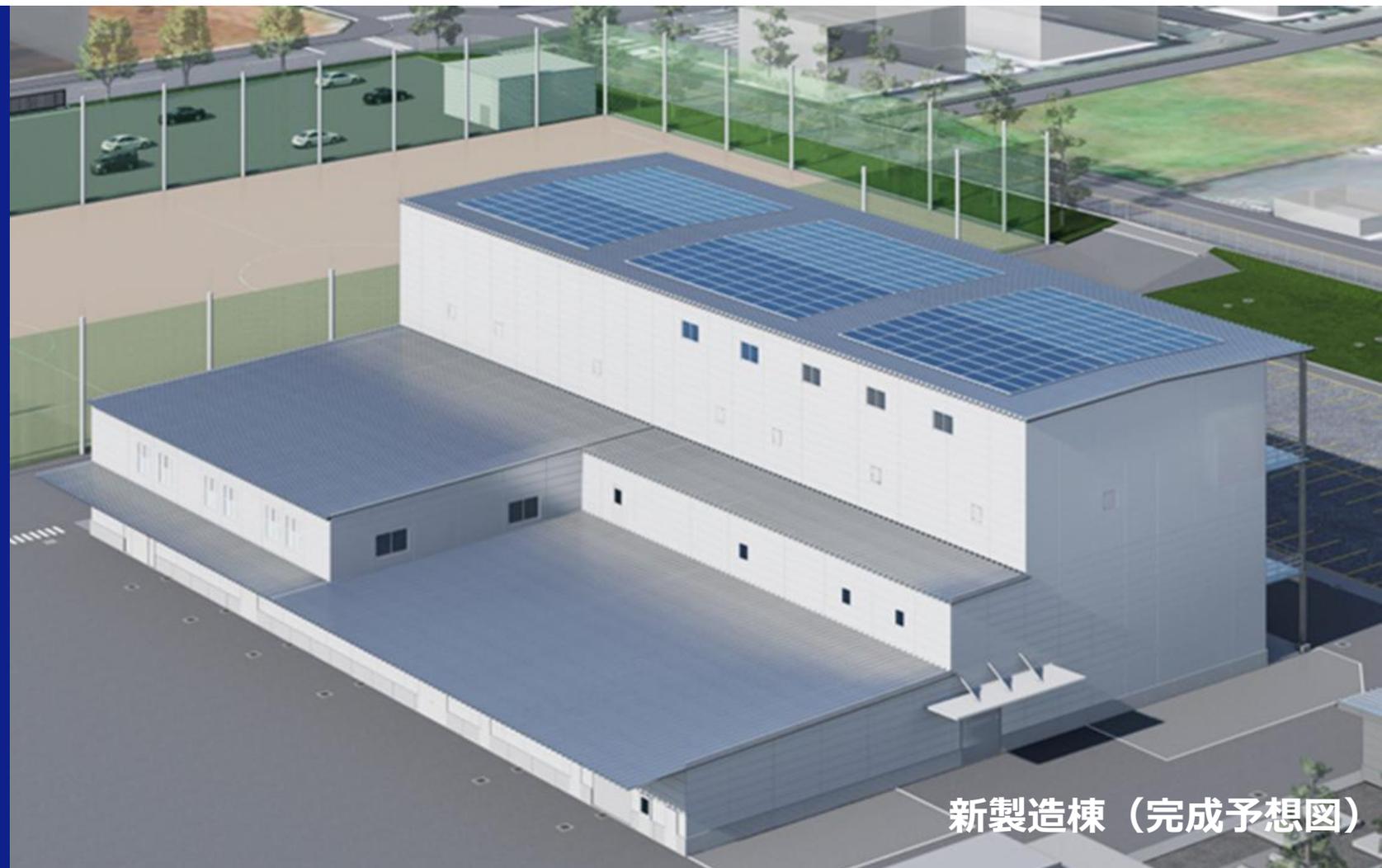
- 事業および製品の集中と選択

地政学的リスクへの対応、および成長性と採算性を意識した事業ポートフォリオ再編により、収益性と資本効率の向上を図る

➤ 2025年6月1日付

- 連結子会社 株式会社光波
ネットワークソリューション事業を第三者に譲渡

〔埼玉県狭山市〕
はんだ粉末の生産工程移管



新製造棟 (完成予想図)

中国生産拠点の再編



拠点マップ

〔埼玉県坂戸市〕
モジュール製品の生産開始



坂戸事業所

財務戦略

収益性向上



資産効率向上



キャッシュ創出力向上

- 「成長の基盤作り」と「体質改善」へ再投資
- PBR1倍以上に評価される企業を目指し、株主還元を強化

財務戦略

余剰金の配当等の基本方針を見直し



- 安定的な配当を基本としつつ、株主資本配当率3%を目途にした株主還元を目指す
- 経営環境や財務状況を考慮した機動的な自己株式取得も検討

➤ 2025年5月13日より

上限350万株および上限10億円の自己株式取得を実施

サステナビリティ戦略

コンプライアンスの徹底

コーポレートガバナンスおよび
リスクマネジメントの強化



グループガバナンスの強化・浸透

■ 本社部門にグループ会社の業務改革を推進する部署を新設

監督機能の強化

■ 過半数が社外取締役となる取締役会構成の決議を予定

事業戦略

財務戦略

サステナビリティ
戦略



One TAMURA for Next 100

次の100年に向けた成長基盤をグループ一丸で構築

**引き続き、決議事項の
説明をさせていただきます。
株主様のご質問・ご意見は
その後に一括して
お受けいたします。**

第1号議案 定款一部変更の件

第2号議案 監査等委員である取締役を除く取締役3名選任の件

第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件

質疑応答

- まず、挙手をお願いします。
- 議長が指名いたしましたら、スタッフがマイクスタンドにご案内いたします。
- 位置につきましたら、お手元の入場票の番号とお名前をおっしゃっていただき、要点を簡潔にご発言ください。
- ご発言が終わりましたら、お席へお戻りください。

なお、円滑な議事の進行のため、
ご質問は本総会の目的事項に関するものにつき、
1回の指名につき1個のご質問とさせていただきます。
ご理解のほどお願い申し上げます。

第1号議案 定款一部変更の件

第2号議案 監査等委員である取締役を除く取締役3名選任の件

第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件

第1号議案

定款一部変更の件

第2号議案

監査等委員である取締役を除く
取締役3名選任の件

第3号議案

監査等委員である取締役4名選任の件

第102期 定時株主総会

2025年6月26日

ご来場ありがとうございました

